

# 結晶シリコン太陽電池の現在地と未来

2019年9月19日(木) 13:30~18:30(予定)

約30年以上の研究を通じ、現在我々の身近なところまで普及が進み、多様な用途への活用が進む太陽電池において、大きな割合を占める結晶シリコン太陽電池は、新構造、材料作製、プロセス技術の発展による性能向上や、長期にわたる性能維持などを含めた継続的な研究が日夜進められています。

本シンポジウムでは、現在特に鋭意に研究を進められている企業・研究機関・大学の代表者を招待講演者としてお招きし、最新の研究成果を幅広くご紹介頂く絶好の機会としたいと考えております。

多くの方のご来場をお待ち申し上げます。

## 招待講演者(敬称略)

小長井 誠(東京都市大) Rib型シリコン太陽電池の開発

山本 憲治(カネカ) 高効率結晶シリコン系太陽電池の最新開発状況

寺川 朗(Panasonic) シリコンヘテロ接合太陽電池の更なる進化に向けて

伊原 学(東工大) ナノ表面粗さ制御によるウエハレベル太陽電池用Si膜の高速製膜

増田 淳(産総研) 結晶シリコン太陽電池の劣化メカニズム

大下 祥雄(豊田工業大) バンド構造制御に基づく次世代高効率結晶シリコン太陽電池

宇佐美 徳隆(名古屋大) 多結晶材料情報学による高性能シリコンインゴット創成に向けて

大平 圭介(北陸先端大) 高効率結晶Si太陽電池のためのプロセス技術開発